

第13回



時間学カフェ

日時：令和元年5月20日（月）13：30～

場所：時間学研究所 所長室

（吉田キャンパス総合研究棟 106）

話題提供者

大和田 正明 先生

（創成科学研究科・教授／時間学研究所・兼務所員）

【南極の地質調査事情：極地での24時間】

極域には、太陽が全く沈まない「白夜」と逆に陽が昇らない「極夜」があります。地質調査は白夜の季節に活動する夏隊オペレーションに含まれます。私が参加した地質調査隊は、昭和基地に滞在する本隊ではなく、6名の隊員で構成された別動隊でした。住居は氷上に張ったテント、食事も自炊、もちろん風呂もシャワーもない環境で約70日間過ごしました。こうした閉鎖空間に6名で生活すると何が起こるのか？白夜ではどのようにして生活のリズムを刻んだのか？自分自身の人体実験結果を含めて紹介します。

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・

この世の、あらゆることからは時間と関係しています。

参加無料
どなたでも参加OK
途中入退室OK！

時間学カフェ

とは。。

どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？

色んな分野の人と繋がってみませんか？

気ままに、話の赴くままに、お茶を飲みながら語ってみませんか？

研究の話でも、思いつきでも、突拍子のない考えでも、便乗発言、大いに歓迎！

お問合せ先

時間学研究所事務室 TEL：083-933-5848 MAIL：sh076@yamaguchi-u.ac.jp